

# CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市中央区地行浜2丁目マンション	階数	地上28F
建設地	福岡県福岡市中央区地行浜2丁目3番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 0.0	評価の実施日	2017年9月1日
敷地面積	12,094 m <sup>2</sup>	作成者	(株)三菱地所設計
建築面積	XXX m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	29,238 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 92% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記②以外の 92%

④上記+ 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)

音環境	3.6
温熱環境	3.2
光・視環境	2.7
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.5)

機能性	3.6
耐用性	3.3
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 3.0)

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.2)

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.0)

地球温暖化	3.3
地域環境	3.0
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 緑豊かな環境と快適な室内空間を提供する超高層ツインタワーレジデンスの実現	<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 住居部分の遮音性能や断熱性能を高め、快適な居住環境を提供。	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 メンテナンスが容易で、耐久性・更新性に優れた建物とします。
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高い外皮性能の実現と高効率設備機器の導入	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水機器等の採用による省資源対応
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 タワーマンションとすることで足元を開放し、緑豊かな敷地内環境を提供
	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 隣接する商業施設や周辺環境に調和した景観計画

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される